

先端研究基盤共用促進事業
(新たな共用システム導入支援プログラム)

〇〇大学

提出日：平成 年 月 日

研究機関について

研究機関名	国立大学法人 ○○大学
共用担当役員（理事）	○○ ○○
共用システム統括部局名※	○○ ○○
部局長名	○○ ○○
担当名	○○ ○○
連絡先（電話）	
連絡先（Email）	
分類	<input type="checkbox"/> ：自然科学系総合大学 <input type="checkbox"/> ：自然科学系単科大学 <input type="checkbox"/> ：その他研究機関 ※該当する分類にチェックしてください。

※採択・不採択に関わらず、共用システム統括部局名は各研究機関における共用取組の窓口先としてとりまとめて審議会等の資料として活用する予定です。窓口として機能が困難な部局は登録を控えてください。

共用システム運営組織名
○○研究科○○専攻
○○学部○○学科・○○学部○○学科（複数の研究組織による提案の場合）

研究機関全体の共用の取組の詳細

<p>(1) 研究機関としての共用の取組方針</p>	<p>研究組織が所属する研究機関における共用の取組を記入すること。 (参考) 大学及び研究機関等の経営戦略と学部や研究科、学科、専攻、センターといった研究組織それぞれの経営・研究戦略が整合性をもって、総合的に運営されるべきである。(公募要領別紙1 4章参照)</p> <p>※参考となる計画があれば添付してください。</p>
<p>(2) 共用の取組に関する政策連携</p>	<p>(取組) 研究組織が行う共用の取組において、他の政策と連携した取組を行う場合、それについて記入すること。(公募要領別紙1 6章参照) (参考) 加えて、大学及び研究機関等が独自に取り組む付加価値創造を支援できるよう、研究設備・機器の共用化と関連する政策とも連携し、一体的に推進していくことが重要である。(公募要領別紙1 7章参照)</p> <p>※参考となる計画があれば添付してください。</p> <p>(検証) ※連携の効果を検証する方法等を記入してください。共用システム導入前後、政策連携開始前後等で比較可能となる「前」の状況を把握する取組があれば記入してください。</p>

※共用システム統括部局と研究組織が連携して作成してください。

※複数の研究組織からの提案がある場合には様式 3-1～3-4 は研究組織毎に作成してください。

研究組織について

研究組織名	国立大学法人 ○○大学 ○○学部 ○○学科	
提案代表者名	○○ ○○	
共用担当役員	○○ ○○	
統括役員	○○ ○○	
研究組織の概要		
研究分野	関連する研究分野を最大3つまで記入すること	
研究組織の体制	研究組織に所属する研究室等について簡潔に記入すること（図表を用いても可）。	
研究組織の 所属人数	教授	○○人
	准教授	○○人
	講師・助教	○○人
	ポスドク・その他任期付研究者	○○人
	博士課程学生	○○人
	事務系スタッフ	○○人
	技術系スタッフ	○○人
	その他	○○人
平成28年度 予算規模（百万円）	運営費交付金	○○○○
	外部資金（競争的資金等）	○○○○
	自己収入	○○○○
	その他	○○○○

研究設備・機器の保有状況

【研究組織名：〇〇】

共用システム 対象	メーカー	購入年	購入金額 (百万円)	資金源	総稼働時間 (時間)	総稼働時間の うち共用に供 した時間 (時間)
※該当する場 合には「〇」 を記入	〇〇(株)	H〇.〇.〇	〇〇〇〇	運営費交付金	平成27年度 実績ベースで 記入	平成27年度 実績ベースで 記入
※該当する場 合には「〇」 を記入	〇〇(株)	H〇.〇.〇	〇〇〇〇	競争的資金 (可能な限り 資金名を記 入)		

※研究組織の管理下にある研究設備・機器を網羅的に記入してください。

※稼働時間は、平成27年度実績について見込みを含めて記入してください。また、見込みを含めての記載が難しい場合には、実績を積算した期間を「(〇月～〇月)」と明記してください。

研究組織における共用の取組の詳細（1 / 3）

【研究組織名：〇〇】

(1) 研究組織としての共用の仕組み	<p>研究組織における共用システムの導入・運営に係る取組を記入すること。（共用設備・機器の運営体制、利用支援体制、保守メンテナンス体制、共助分担に基づく利用料の設定など）（公募要領別紙 1 2章、4章を参照）</p>
	<p>※参考となる規程、計画等があれば添付してください。</p>

※共用システム統括部局と研究組織が連携して作成してください。

研究組織における共用の取組の詳細（2 / 3）

<p>(2) 自立化への計画</p>	<p>研究組織における自立化に向けた計画を記入すること。(委託費による支援の内製化やその他リソースの活用など) また、共用システムの導入・運営に必要な経費に充当する財源(委託費、運営費交付金、利用料収入等)のポートフォリオを年度毎にグラフを用いてわかりやすく記入すること。</p> <p>※参考となる計画等があれば添付してください。</p>
<p>(3) 共用システムの対象設備・機器の更新計画</p>	<p>競争的研究費や運営費交付金等により、共用システムの対象となる研究設備・機器を更新するための計画を記入。(公募要領別紙 1 3章を参照)</p> <p>※参考となる計画等があれば添付してください。</p>

※共用システム統括部局と研究組織が連携して作成してください。

研究組織における共用の取組の詳細（3 / 3）

<p>(4) 共用化により期待される効果を発揮するための計画</p>	<p>共用システムの導入により期待される効果を発揮し、研究開発と共用の好循環を実現するために実施する取組を記入。(公募要領別紙 1 5章、6章を参照)</p> <p>※参考となる計画等があれば添付してください。</p>
------------------------------------	---

※共用システム統括部局と研究組織が連携して作成してください。

所要経費の見込額

【研究組織名：〇〇】

(1) 平成28年度所要経費の見込額

・研究組織における共用システムの導入・運営に必要な経費（委託事業対象経費）を記入してください。その際、記載例にならって委託費充当分を明記してください。

※積算根拠を出来るだけ分かるように記入してください。

※費目・種別等の詳細は、公募要領の「委託費の範囲及び積算等」を参照してください。

※積算根拠欄に記入した経費のうち委託費を充当するものには【委託費充当】と記入してください。

経費の用途	費目	種別	平成28年度 見込額	積算根拠等
人件費	人件費	(例) ・事業担当職員 ・補助者 ・社会保険料等 事業主負担分	〇千円 〇千円 〇千円	(例) ・事業担当職員【委託費充当】 技術支援者 〇人×〇千円/年 ・補助者【委託費充当】 〇人×〇日×〇千円/日 ・保険料【委託費充当】 〇人×〇千円/年
共用システム等導入費	設備備品費	/	〇千円	(例) ・設備備品費【委託費充当】 〇〇に係る業務 〇千円 ・設備備品費 〇〇に係る業務 〇千円
	業務実施費	(例) ・雑役務費 ・消耗品費	〇千円 〇千円	(例) ・雑役務費【委託費充当】 〇〇に係る業務 〇千円 ・消耗品費【委託費充当】 〇〇に係る業務 〇千円
保守管理費		(例) ・雑役務費	〇千円	(例) ・雑役務費【委託費充当】 〇〇に係る業務 〇千円 ・雑役務費 〇〇に係る業務 〇千円
	一般管理費	/	〇千円	【委託費充当】
	合計	/	〇千円	委託費充当合計 〇千円

(2) 実施期間中の所要経費の見込額

- ・研究組織における共用システムの導入・運営に必要な経費のうち委託費充当分を年度ごとに記入してください。

費目・種別	28年度	29年度	30年度
設備備品費	〇千円	-	
人件費	〇千円 (支援員〇人)	〇千円 (支援員〇人)	
業務実施費			
消耗品費	〇千円	〇千円	
雑役務費	〇千円	〇千円	
その他	〇千円	〇千円	
一般管理費	〇千円	〇千円	
合計	〇千円	〇千円	

※経費は一般管理費を含んだ額について記入してください。

※平成28年度の合計欄は、「(1) 平成28年度所要経費の見込額」の委託費充当合計の金額と一致させてください。